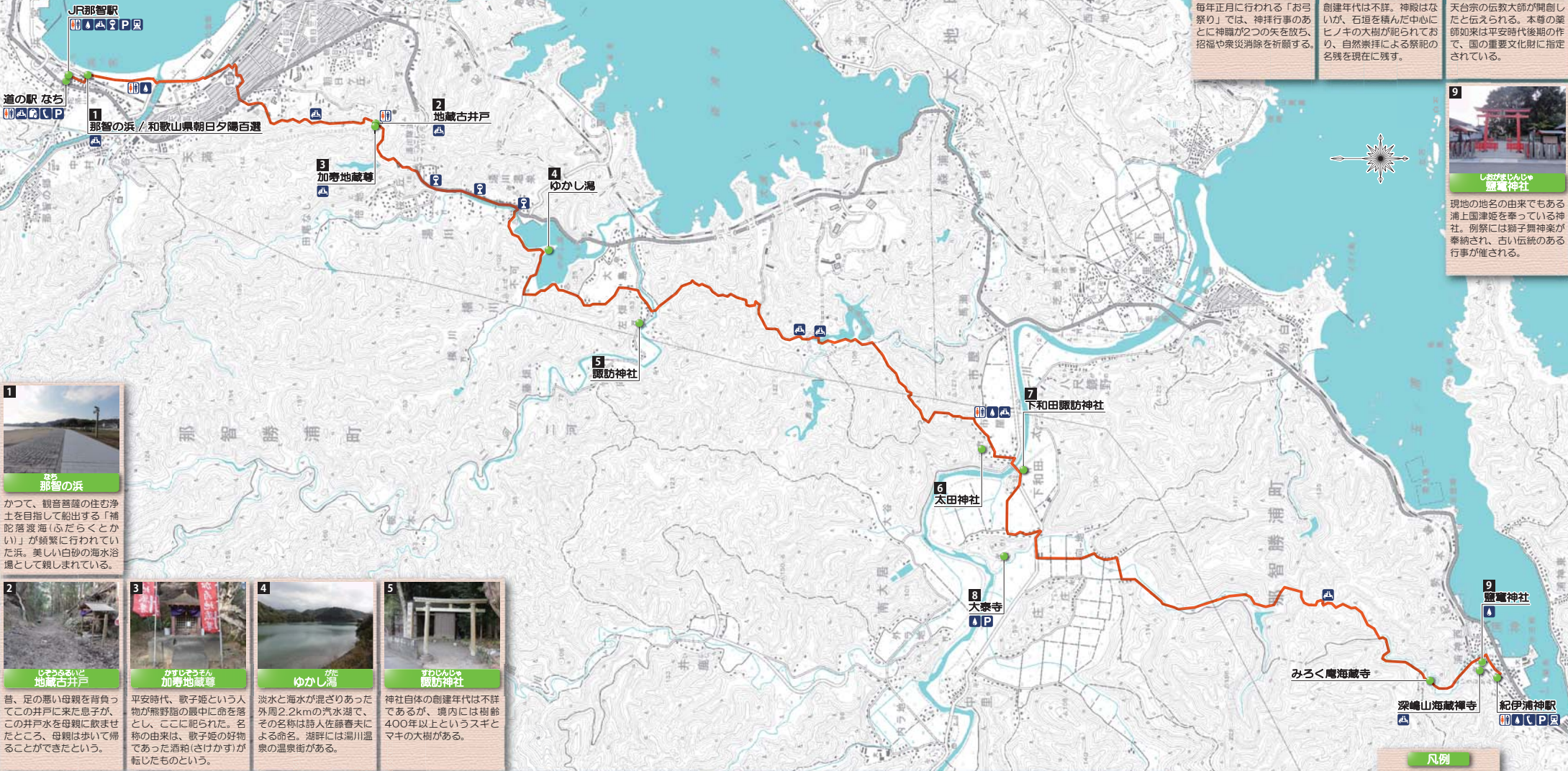




近畿自然歩道 13 ゆかし瀧を訪ねるみち



1 ななわ 那智の浜
かつて、観音菩薩の住む浄土を目指して船出する「補陀落渡海(ふたらくとかい)」が頻りに行われていた浜。美しい白砂の海水浴場として親しまれている。



2 じまごあるいど 地藏古井戸
昔、足の悪い母親を背負ってこの井戸に来た息子が、この井戸水を母親に飲ませたところ、母親は歩いて帰ることができたという。



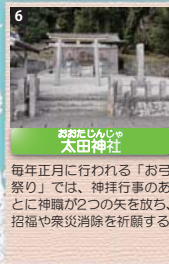
3 かすじきそん 加寿地藏尊
平安時代、歌子姫という人物が熊野詣の最中に命を落とす。ここに祀られた。名称の由来は、歌子姫の好物であった酒粕(さけかす)が転じたものという。



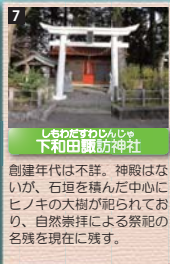
4 ゆかし 湯
淡水と海水が混ざりあった外周2.2kmの汽水湖で、その名称は詩人佐藤春夫による命名。湖畔には湯川温泉の温泉街がある。



5 すわじんじゅ 諏訪神社
神社自体の創建年代は不詳であるが、境内には樹齢400年以上というスギとマキの大樹がある。



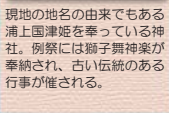
6 おおたじんじゅ 太田神社
毎年正月に行われる「お弓祭り」では、神行事のあとに神職が2つの矢を放ち、招福や衆災消除を祈願する。



7 しもだすわじんじゅ 下和田諏訪神社
創建年代は不詳。神殿はないが、石垣を楯だ中心にヒノキの大樹が祀られており、自然崇拜による祭祀の名残を現在に残す。



8 だいにじ 大衆寺
天台宗の伝教大師が開創したと伝えられる。本尊の聖師如来は平安時代後期の作で、国の重要文化財に指定されている。



9 しおまじんじゅ 蛸電神社
現地の地名の由来でもある浦上国津姫を奉っている神社。例祭には獅子舞神楽が奉納され、古い伝統のある行事が催される。

交通情報

- ▼起点：JR那智駅 (那智勝浦町ノ宮)
 - ・運行頻度：1日10～20本
 - ・JR西日本
 - TEL：0570-00-2486
- ▼終点：JR紀伊浦神駅 (那智勝浦町浦神)
 - ・運行頻度：1日10～20本
 - ・JR西日本
 - TEL：0570-00-2486



注意事項

- ▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
- ▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
- ▼ゴミ・空き缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。
- ▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。
- ▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
- ▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
- ▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

行程図



凡例

- トイレ
- 水場
- 休憩所
- 売店
- 公衆電話
- 駐車場
- バス停
- 駅

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1
TEL：073-441-2779
FAX：073-433-3590
メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp